

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）
 （機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 20 年 1 月分

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況 (2月28日現在)	発生場所
1	H20.1.10	原子炉水 pH 計 (原子炉水の水質を測定する計器)	原子炉水 pH 計の指示値に低下傾向を確認したため点検を行った。点検を行った結果、pH 計の故障と判断し、部品を取替えた。原因調査の結果、pH 値を測定する際に使用する部品に目詰まりが発生し、試薬滴下量が減少したためと判断した。このため、試薬滴下量が管理値を下回った場合は、部品の交換を実施する旨、工事仕様書へ明記した。	処置済み	原 子 炉 建 屋
2	H20.1.21	復水器連続洗浄装置 (復水器細管内を洗浄する設備)	3 系統ある復水器連続洗浄装置のうち、1 系統において細管の洗浄に使用しているスポンジ状ボールが回収されないことを確認したため点検を行った結果、ボール回収器 ¹ の出口配管内面の腐食などを防止する皮膜が剥離し、配管内部を塞いでいることを確認した。このため、剥離した皮膜を除去し、スポンジ状ボールを回収した。皮膜が剥離した配管内面については、補修塗装を行った。原因調査の結果、製作時に当該配管の端部を加工しており、皮膜の一部が薄くなっていたため、皮膜に損傷が発生し、剥離にいたったものと判断した。このため、皮膜面の加工を行わないよう、図面に明記した。	処置済み	屋 外

3	H20.1.25	タービン建屋大物搬入口扉 (タービン建屋に資機材を搬入するための出入口の扉)	タービン建屋大物搬入口扉を全閉している状態において、制御盤の「開」ランプが点灯している事象を確認した。点検したところ、扉の開閉状態を感知する部品を取付け固定するナットが緩んでいたため、当該ナットを締付けた。 原因調査の結果、当該ナットが緩み、感知する部品の接触性が不安定となっていたことが原因であると判断したため、タービン建屋大物搬入口扉の定期点検項目に当該部品の点検を追加した。	処置済み	タービン建屋
4	H20.1.28	放射性廃棄物処理設備 高電導度廃液系 (管理区域内で発生する床排水等を処理する設備)	2系統ある放射性廃棄物処理設備高電導度廃液系1系統において、加熱蒸気(非放射性)の流量調整弁について分解点検を実施したところ、弁体と弁棒を接合するピンの穴近傍に割れが発生していることを確認した。このため、弁体と弁棒を取替えた。 原因調査の結果、微量の腐食性成分の付着によるものであることが推定された。なお、工場製作時、現地施工時に腐食性成分が付着する可能性は非常に低く、また、もう1系統の弁は同様の事象が見られなかったことから、偶発的に付着したものと推定される。	処置済み	サービス建屋

1 復水器細管内の洗浄に使用されたスポンジ状ボールを回収する装置

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み: 要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み: 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

(注)平成19年2月分より、処置状況の記載を変更しております。